

感染症発生状況

平成29年11月30日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成29年11月20日（月）～11月24日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象人数（定員）は2,615名です。

この週の延べ欠席者数 329名

1日あたりの延べ欠席者数 82名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数 77名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

症状では 熱（110名）、咳（39名）、下痢（34名）、体調不良（21名）

疾病ごと 手足口病（欠席14名、登園8名）、風邪（15名）、流行性角結膜炎（6名）

風邪症状は少なめ、胃腸炎症状が微増している傾向です。

手足口病が流行しています。ヘルパンギーナの報告もありました。

様々な感染症が混在している状況となっています。しかし、寒さが一定となると冬型の流行となるでしょう。

【症状別の発生状況】

手足口病 河北，盛南，河南地域で減少。玉山，厨川地域で増加しました。

風邪 盛南，河南地域で減少。玉山，厨川，河北地域で増加しました。

流行性角結膜炎 都南，盛南地域で流行しています。

【県の状況（11/13～11/19）】

インフルエンザは、前週より増加しました。例年この時期から流行が始まるので注意が必要です。地区別では中部地区で多くその患者の多くは1～5歳が占めています。県環境保健研究センターで行っているウイルス検査では、A香港型が検出されています。ワクチンは接種後効果が現れるまで2週間程度かかることから、早めの接種が勧められます。希望する方は医療機関へお問い合わせください。

溶連菌咽頭炎は、盛岡市及び宮古地区で多くなっています。例年冬にかけて増加するので今後注意が必要です。感染後、肺炎や腎炎などの合併症を引き起こすことがあるので、7～10日間の抗菌剤内服が必要です。予防には手洗いやうがいの励行が重要です。

流行性耳下腺炎は、今年3月上旬から報告数の多い状況が続いています。無菌性髄膜炎や難聴等合併症を起こす場合があります。ワクチン接種による予防が効果的です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】